

↓記念式典でキョロちゃん（左）も参加した関係者によるテープカット

11.21



森永太郎の書画や手紙などを特別展示



調査委員会 会長 松尾 清さんによる講演



みんなの広場

製菓王 森永太郎の偉業を紹介

『森永太郎展示コーナー』開設

開館 20 周年を記念して、市民図書館に『森永太郎展示コーナー』が開設されました。これは、伊万里出身で、森永製菓株式会社の創始者・森永太郎の生涯を学び、その偉業を後世に伝えようと、森永太郎翁顕彰会の寄付金と、森永製菓の協力を得て、完成したものです。コーナーには、太郎の生涯がわかる紙芝居やお菓子の箱のレプリカが展示されています。この日は、記念式典や特別講演会などが開催され、多くの人でにぎわっていました。

緊急避難時の作業手順を確認

佐賀県原子力防災訓練

玄海原子力発電所での事故を想定し、県民参加による原子力防災訓練が行われました。市内からは、伊万里地区・牧島地区の住民や福祉施設の入所者など 152 人が参加し、バスや自家用車で有田町などへ避難。今回が初参加となった福祉施設では、緊張感が漂う中、職員が作業手順を確認しながら、車いすに乗った入所者を避難させていました。



11.28

↑ 障害者福祉施設『瑠璃光苑』で、入所者を慎重に搬送する職員

↓古伊万里コース（約6km）で、相生橋を快調に歩く参加者



11.23

秋 魅力あふれる 夢のまち・伊万里ウオーク2015 深まる伊万里の魅力を満喫

市内の各所を巡る『伊万里ウオーク2015』が開催されました。10 回目の節目を迎えた今大会は、県内外から約 430 人が参加し、伊万里湾岸・大川内山・市街地の3コースに分かれて、観光名所や晩秋の風景などを堪能しました。ゴール後は、特産品が当たる抽選会が行われたほか、だご汁も振る舞われ、参加者は伊万里の魅力を楽しんでいるようでした。

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎23 43 13 広報係直通)

火 南北朝時代から伝わる神事『取り追う祭り』 の粉が飛び交う男たちの攻防

二里町大里の神原八幡宮で『取り追う祭り』がありました。これは、毎年12月最初の卯の日の前夜に行われる伝統の神事で、地元の男たちが攻め手と守り手に分かれ、新米を丸く握った『御供さん』を奪い合いました。大勢の観客が見守る中、激しい攻防が繰り広げられ、御供さんは無病息災の縁起物として、奪取した攻め手から観客に振る舞われました。



↑ 演芸場に乱入した攻め手と、火の粉を浴びせる守り手の攻防

↓ 男女が互いの役に扮して、人権の紙芝居を上演する生徒たち



伊 ハートフルフォーラム2015 in 伊万里 高生が身近な問題で人権啓発

市民センターで、『だれもが自分らしく輝く社会を目指して』をテーマに、『ハートフルフォーラム2015 in 伊万里』が開催されました。伊万里高校生徒会が企画・運営に参加し、司会進行や意見発表、紙芝居上演などを担当。また、ワトソン・ロバートさん(大分県日田市大山公民館長)による講演も行われ、来場者は人権について理解を深めていました。

新 明治時代から受け継がれる伝統行事『頭わたし』 新しい年の幸せを運ぶ権現様の使者

大坪町古賀地区で、氏神様『今岳大権現』の分霊の世話役(頭)を翌年の当番に引き継ぐ『頭わたし』がありました。これは、今年の豊作に感謝し、また、長寿や健康を願う祭りです。新しい世話役たちは、たっぷりと墨を塗った顔で衣装をまとい、大権現や神主、ほら貝吹きなどに扮して地区を練り歩き、各家庭や道行く人に笑顔を届けていました。



↑ 当番のくじを引き当て、地区内の巡行に向かう世話役たち

↓ ステージ上で『伊万里讃歌8章終詩』を合唱する出演団体代表者



優 第24回市民音楽祭～ふるさとの明日を歌おう～ 美 音色と歌声に彩られた祭典

市民センターで、『ふるさとの明日を歌おう』をテーマに市民音楽祭が開かれました。初出演の伊万里商業高校バンド部と、『プラス・アンサンブル・ラスク』(伊商・伊高の元吹奏楽部員を中心に結成)を含め、市内18団体296人が演奏や歌を披露。最後は、出演者と観客が『伊万里讃歌』を合唱し、ふるさとを思う心が歌声となり会場に響き渡っていました。